

## 紙づて

エオリア諸島の名は、ホメロスの叙事詩『オデュッセイア』に登場する風の神アイオロスに由来する。主に七つの島から成り、地中海に浮かぶ神話世界の島々を訪れようと多くの人がやって来る。

シチリア島北東部の港町ミラツォから高速船を利用し、丸一日かけて往復する海の旅だ。映画の舞台にもなったストロンボリ島が最終目的地で、ウルカーノ島やリーパリ島を経由する。

シチリア本島から数十キロの距離を、ひたすらに碧い海上を進んで行く。よい季節にはウルカーノ島で湯泥温泉が楽しめる。ギリシャ神話の火の神エフェストの鍛冶場があった

### ストロンボリ島

武田 好

とされ、のちにローマ人がローマ神話の神ウルカヌスの名を充てた。

円錐形のストロンボリ島は直径四〜五キロ、東京都千代田区ほどの大きさだ。今なお火山活動が続く、島の北西側一帯は溶岩流の堆積する大斜面。北東側の居住区で小道の途中に壁の緋色が美しい家があった。ロッセリーニ監督とイングリッド・バーグマンが暮らした家だ。海岸近くに戻ると丸みのある、しゃれたデザインの小型電気自動車が進んでいく。紺地に白抜きの見慣れた「carrabiniere」の文字。国防省警察（カラビニエーリ）である。オレンジ色の噴煙が数分おきに火口から噴き上がる。船が遠ざかるにつれ島影は淡く、夕闇の紫銀に同化していった。

（静岡文化芸術大教授）

2020.5.23

2020.5.23

中日新聞（夕刊）P.1